

2023年12月期（67期）第3四半期累計 決算補足資料

ピジョン株式会社

2023年11月8日

Celebrate babies the way they are



2023年12月期（67期） 第3四半期累計

第3四半期累計 業績報告	P. 3
事業別サマリ	P. 6
地域別売上高、主要国EC比率	P. 8
通期業績見通し	P. 11

Agenda

23/12期 第3四半期累計 業績報告 連結PL

売上高は日本事業、中国事業、ランシノ事業が牽引し前期比+3.2%の増収
増収による利益増に加え、総利益率の改善が販管費の増加を吸収し、営業利益も増益

単位：百万円	22/12期 第3四半期 累計		23/12期 第3四半期 累計		
	実績	構成比	実績	構成比	前期比
売上高	70,707	—	72,942	—	103.2%
売上原価	37,510	53.1%	37,016	50.7%	98.7%
売上総利益	33,197	46.9%	35,925	49.3%	108.2%
販管費	24,093	34.1%	25,741	35.3%	106.8%
営業利益	9,103	12.9%	10,183	14.0%	111.9%
経常利益	10,774	15.2%	11,149	15.3%	103.5%
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,948	9.8%	7,281	10.0%	104.8%

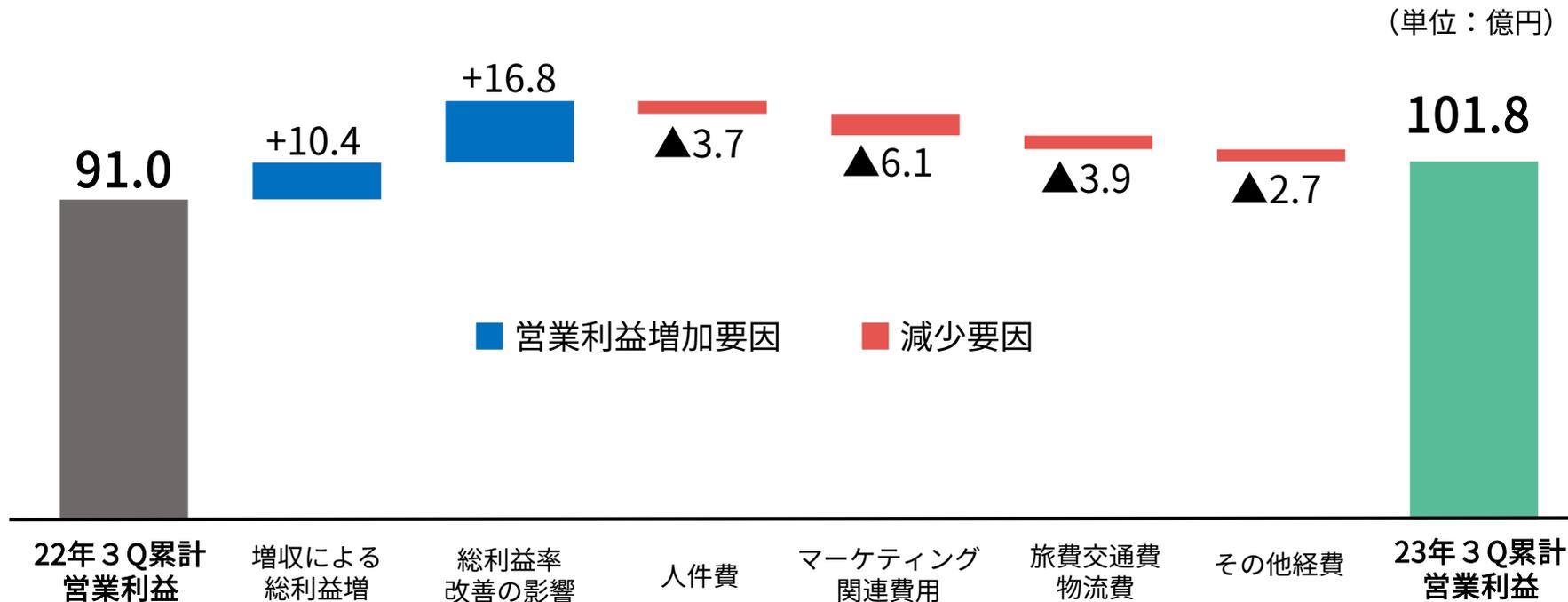
【為替レート】 23/12期 実績：1ドル138.17円 1元19.62円
22/12期（前期） 実績：1ドル128.31円 1元19.38円

23/12期 第3四半期累計 連結営業利益 前期比増減要因

販管費は、上期活動の繰り越し分の消化も進み、3Q累計で前期比+16.4億円

増収と総利益率改善も貢献し、営業利益は前期比で+10.8億円増加

(社内計画に対しては販促費用等の一部が依然として未消化のため、4Qに費用発生 の予定)



23/12期 第3四半期累計 事業別損益

単位：百万円	22/12期 第3四半期 累計実績				23/12期 第3四半期 累計実績				
	売上高	構成比	総利益率	セグメント利益	売上高	構成比	前期比	総利益率	セグメント利益
連結計上額	70,707	—	46.9%	9,103	72,942	—	103.2%	49.3%	10,183
日本事業	26,726	37.8%	32.7%	924	27,572	37.8%	103.2%	34.2%	1,638
中国事業	26,220	37.1%	52.3%	8,100	27,301	37.4%	104.1%	55.8%	8,613
シンガポール事業	10,772	15.2%	41.4%	1,978	10,118	13.9%	93.9%	38.2%	1,225
ランシノ事業	12,384	17.5%	51.1%	476	13,651	18.7%	110.2%	54.0%	881
セグメント間取引消去	▲ 5,396	▲ 7.6%	—	—	▲ 5,702	▲ 7.8%	—	—	—

【参考】日本事業の主な内訳（旧セグメント区分での比較：経営戦略部で試算）

単位：百万円	22/12期 第3四半期 累計実績				23/12期 第3四半期 累計実績				
	売上高	構成比	総利益率	セグメント利益	売上高	構成比	前期比	総利益率	セグメント利益
ベビーケア	18,694	—	37.1%	1,213	19,442	—	104.0%	39.4%	1,897
子育て支援	2,577	—	15.6%	141	2,574	—	99.9%	15.5%	140
ヘルスケア・介護	3,686	—	31.3%	352	3,592	—	97.5%	31.5%	307

日本 事業

基幹商品を中心に伸長。2月の価格改定後も主力商品は堅調に推移し増収増益

- ベビーケアの売上高は累計で前期比+4.0%と堅調
- 哺乳器・乳首、スキンケアの累計売上高は前期比で伸長。ウェットティッシュ等の消耗品も好調に推移
- 新商品は8月より電動鼻吸い器「シュポット」や「母乳実感パーツ（ストロー、ふた）」などを発売
- 訪日外客数は増加傾向も、インバウンド需要は依然として低調に推移
- ベビーケアの総利益率は累計で前期比+2.3pt改善。2月の価格改定も貢献
- 2月に続き、9月よりベビー関連およびヘルスケア・介護商品において価格改定を実施

中国 事業

中国本土はW11向け先行出荷等もありセルインは前期並み。セルアウトは苦戦

- 中国本土の売上高*は3Q単独は▲8.4%、累計ではほぼ前期並みで終了
- 哺乳器・乳首の累計売上高（中国元）は前期比+27%。ベビースキンケアは前期比▲11%。特にスキンケアは、ALPS処理水放出に伴う日本ブランドへの逆風の影響も大きかった
- エイジアップ商品（自然離乳シリーズやキッズ向けスキンケア）はオフライン・ECともに販売を拡大中
- 中国事業の累計総利益率（日本円）は、哺乳器・乳首の販売構成比の増加により前期比+3.5pt改善
- セルアウトは累計で前期比▲6%。ECはほぼ前期並みも、オフラインが同▲18%と低調継続。新規注力チャネルであるTiktok、Pinduoduoのセルアウトは同2ケタ伸長と成長継続。EC比率は72%

シンガポール事業

主要国は前年セルイン伸長の反動が継続、減収減益。セルアウト伸長へ向け費用は先行

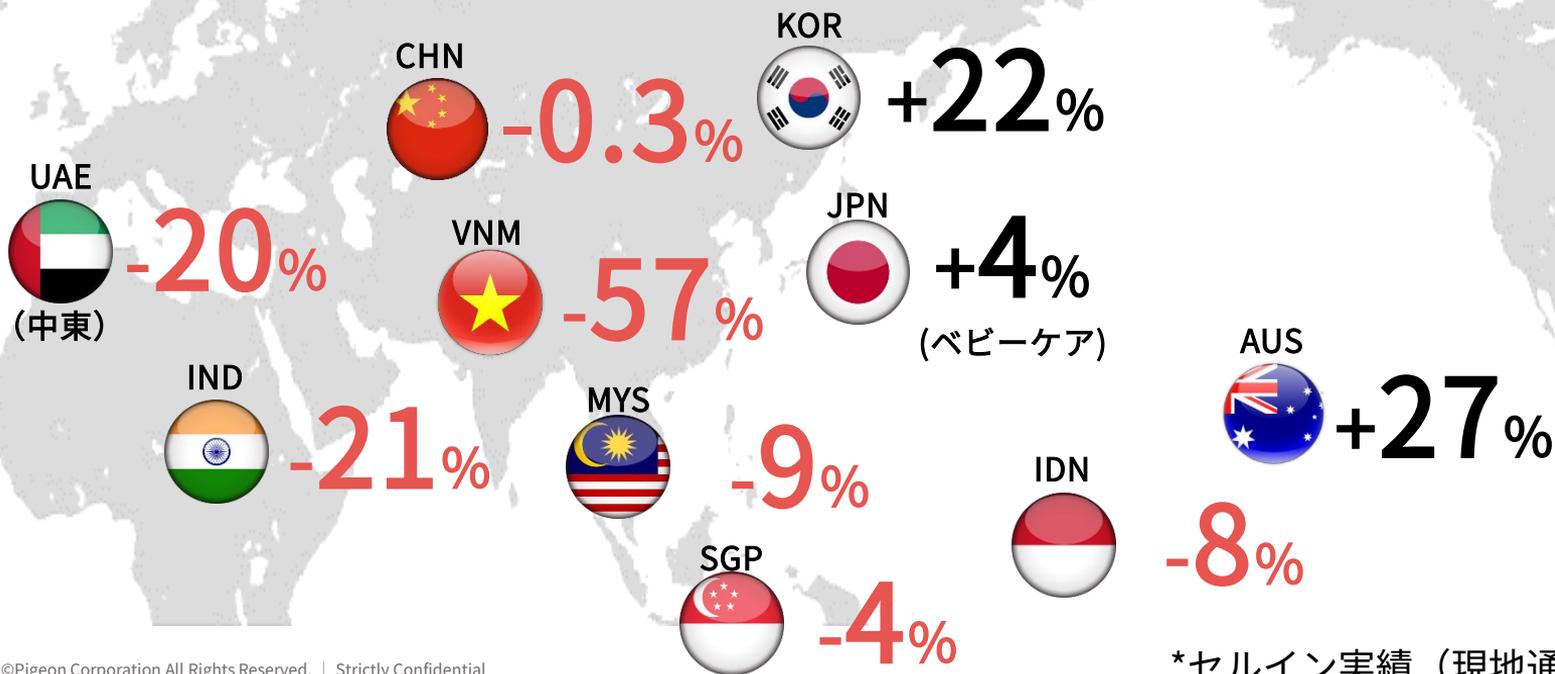
- 累計売上高*はインド国内が前期比▲21%、マレーシア同▲9%、インドネシア同▲8%、中東▲20%
- 累計セルアウトは特に哺乳器・乳首が好調なインド、オーストラリア、タイが前期比伸長
- 新商品は哺乳器のデザイン追加や、さく乳器のリニューアルモデルを発売
- 基幹商品（哺乳器・乳首、スキンケア）の販売強化を継続。Natural Botanicalスキンケアは各国ECとオフライン店舗の両面でブランド認知を強化し、セルアウトは徐々に拡大中
- シンガポール事業の累計総利益率（日本円）は、販売会社および工場の減収などで前期比▲3.2pt悪化

ランシノ事業

北米は前期割れも、欧州、中国は売上高伸長。海上運賃低下が利益率改善に貢献

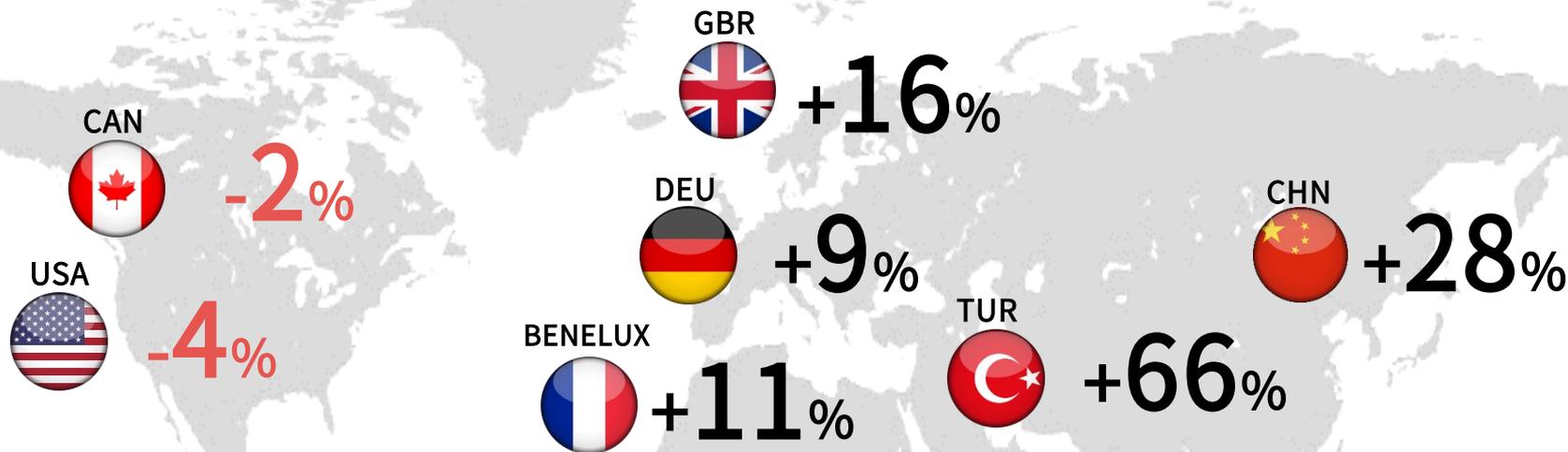
- ランシノグループの売上高*は累計で前期比+2%。北米は消耗品の市場競争激化、特需の反動減などにより同▲4%も、欧州（ドイツ、UK、フランス）は主力商品の乳首クリームなどを中心に売上高伸長
- 「産前・産後ケア」商品の累計売上高は前期比2ケタ伸長。北米、UK、ドイツ、ベネルクスで引き続き好調
- 新商品は8月より北米の大手ディスカウントストア1社にて「Wearable Breast Pump」を発売開始。これにより、さく乳器カテゴリの累計売上高も徐々に回復基調
- 累計総利益率（日本円）は海上運賃（原価要因）の低下もあり前期比+2.9pt改善。一方で米国内の販売物流費（販管費要因）は依然として高騰継続

23/12期 第3四半期累計 地域別売上高* (前年同期比)



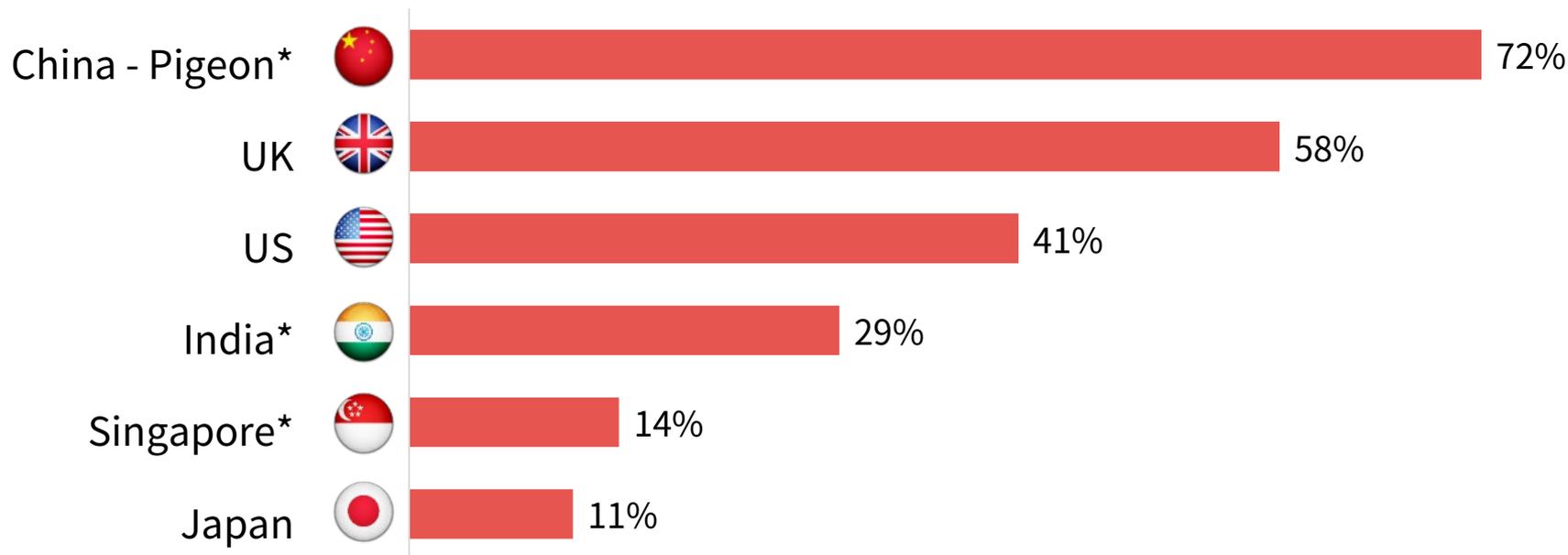
23/12期 第3四半期累計 地域別売上高* (前年同期比)

Lansinoh®



23/12期 第3四半期累計 主要国のEコマース販売比率

ピジョン・ランシノ商品のEコマース販売比率



*：セルアウト 無印：セルイン

23/12期 通期業績見通し 期初計画据え置き

日本事業・ランシノ事業は堅調の一方、中国市場での不透明感の高まりやシンガポール事業での業況回復への対応強化も必要な状況であり、期初計画達成に向け注力

第4四半期は各事業で成長加速に向けた施策の実施や、持続的成長のための活動強化などに費用を投下予定

単位：百万円	22/12期 通期実績		23/12期 通期業績見通し		
	実績	構成比	計画	構成比	前期比
売上高	94,921	100.0%	100,000	100.0%	105.4%
売上原価	50,087	52.8%	51,800	51.8%	103.4%
売上総利益	44,834	47.2%	48,200	48.2%	107.5%
販管費	32,638	34.4%	35,800	35.8%	109.7%
営業利益	12,195	12.8%	12,400	12.4%	101.7%
経常利益	13,465	14.2%	12,400*	12.4%	92.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	8,581	9.0%	8,100	8.1%	94.4%

*助成金収入等は含まない

【為替レート】 22/12期 実績：1ドル131.55円 1元19.50円
23/12期 計画：1ドル130.00円 1元19.50円

将来見通しに関する注意事項

本資料にはピジョングループの「将来に関する記述に該当する情報」が記載されています。本資料における記述のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来予測に関する記述に該当します。

これら将来予測に関する記述は、現在入手可能な情報に鑑みてなされたピジョングループの仮定および判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスクおよび不確実性ならびにその他の要因が内在しており、それらの要因による影響を受ける恐れがあります。

担当部署・連絡先

ピジョン株式会社 経営戦略本部

経営戦略部

担当：金田・金塚・平塚 03-3661-4204

Celebrate babies the way they are



ピジョングループは、株主、投資家の方々をはじめ、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを通じ、経済的・社会的価値を最大化する事を目指しています。

当社の最新の経営戦略や事業・ESGについて、ぜひ当社ウェブサイトよりご覧ください。



統合報告書

<https://www.pigeon.co.jp/ir/library/factbook/>

サステナビリティ

<https://www.pigeon.co.jp/sustainability/>

ESGデータブック

<https://www.pigeon.co.jp/sustainability/databook/>